

三桜電設株式会社（宮城県延岡市）

将来を見据えた攻めの経営戦略

DXで作業の安全性も向上

課題・背景

- ✓ 市場の縮小：延岡市の人口の減少
- ✓ 将来を見据えた売上の拡大、新規顧客の開拓
- ✓ 現場作業者の安全確保、従業員の働き方改革

改善

- ✓ 3Dスキャナー、3DCADを活用し、3Dデータによる工事現場の見える化が実現。
現場に何度も出向く必要がなくなり、大幅な工数削減が実現。
⇒遠方の案件にも対応可能となり、全国での**案件受注が増加**。
危険箇所の確認、危険な場所での作業数の減少により、**作業者の安全性が向上**。
工期の短縮、リモートワークの実現により、**従業員の働き方改革が進んだ**。
- ✓ タブレット端末を全従業員に配布。ペーパーレス化を推進。

主な事業内容：電気工事、電気通信、消防設備

昭和21年創業。旭化成の協力会社として、延岡工場の発電施設から工場内配線設備等の維持・保守などを行うことが同社の業務。「たゆまぬ自己研鑽と技術革新で需要創出をはかる。自然保護と環境調和の社会に貢献する。」を理念に掲げ、単なる電気設備工事業に留まることなく、土木、建築設計を含む3D応用技術の活用にいち早く取り組んでいる。

従業員：80名

HP：<http://www.misakura.com/index.html>



支援策の活用

- 中小機構基盤整備機構の専門家派遣の支援を活用。
専門家の助言を受け実施。

デジタル化の推進を中期経営計画の成長戦略に位置づけ、各課長がリーダーとなりデジタル化を強力に推進しています。
3Dスキャナー等のツールの導入当初は若手社員が推進役となり、社員同士で教えあいながらデジタル化を進めていきました。

代表取締役 甲斐 雄二 氏

最初は新しい機材の活用に抵抗もあったが、活用してみると従来よりも仕事がやりやすくなった。
3Dデータで現場に入る前に安全対策の状況も確認できるようになった。

工務部 桝田 朋宏 氏

今後

「三桜PLAN+T株式会社」を設立し、デジタル技術を活用した次世代ビジネスの構築を目指す。